

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		訪問先施設で準備された教材を用いることを基本としますが、持参した教材の利用の許可をいただけて、個々の特性に合わせたものを使用することがあります。		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、訪問支援員が1人以上配置と定められています。COMPASSでは資格や経験等を考慮して訪問支援員を配置しております。		
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		個別支援会議で訪問時の様子を伝え、それをふまえて支援方針・支援方法を話し合っております。		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		令和7年6月から訪問支援事業が始まり、今回が初めての自己評価となります。保護者様からいただいたご意見は速やかに全職員で共有し、業務改善に努めます。		
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		職員が全員参加してのリフレクション会議を毎月おこなっており、反省とそれに対する改善案を提案しております。		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		関係機関からの研修を受講し、スキルアップを図っております。事業所内では全事業所を対象とした社内研修に参加し、資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		アセスメントを適切におこない、児童の特性や状況、保護者様のご意向に基づいて支援計画を作成しております。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		個別支援会議にて児童の最善の利益を考慮しながら意見交換をし、個別支援計画に反映させております。		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先施設を含めた担当者会議にて、支援の方針や支援内容を統一させ、支援計画を作成しております。	・相談支援事業所に担当者会議を開いていただくようお願いしてまいります。 ・訪問先の先生との意見交換を可能な限りおこなってまいります。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援をおこなう際には、毎回保育所等訪問支援計画を確認しております。		
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		標準化されたアセスメントツールの使用や、日々の行動観察を通し、児童の状況の把握に努めております。		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインを踏まえ具体的な支援内容が設定された支援計画を作成しており、各関係機関とも連携して情報共有に努めております。		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援をおこなう際には、毎回保育所等訪問支援計画を確認しております。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		毎日の職員間での打ち合わせにて本日の訪問の目的や支援方法の確認をおこなっており、担当児童のみならず、訪問先施設の児童全員に対する配慮にも気を配っております。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		毎日の職員間での打ち合わせで、訪問先施設での児童の様子を伝え、共通理解に努めております。		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先施設のホームページやパンフレットを確認し、先生方の話を傾聴して訪問先の理念や支援手法を尊重しながら支援をおこなっております。		
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		日々の支援経過記録を徹底して検証し、改善につなげております。また、訪問先施設の先生方から学ぶことや気づきも多く、支援の改善につなげております。		
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しが必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的なモニタリングによって児童の状況や課題などを確認し、保護者様や訪問先のご意向を踏まえた支援計画の作成と見直しをおこなっております。		
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		担当者会議に参画しているのは児童発達支援管理責任者であり、訪問支援員も可能な際には会議に参加しております。	
		21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		各関係機関と連携を図り、担当者会議を通して統一した支援がおこなわれるよう情報共有し、相談支援をおこなっております。	
		22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		小学校などへの進学時には、保護者様のご意向を確認した上で移行支援シートを作成し、進学先との情報共有に努めております。	
		23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		熊本市子ども局及び熊本市教育委員会が主催する合同研修会に参加し、支援の質の向上を図っております。	
		24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		定期的に東区子ども部会や案内メールが届いたものにはすべて参加しております。	
		25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		送迎時や連絡帳、またはお電話にて活動の様子等をお伝えし、児童の発達状況や課題について共通理解に努めております。	
		26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ご自宅を訪問した際に保護者様のお悩み等をうかがい、必要な助言や効果的な支援方法をその都度お伝えしております。療育上必要で保護者様のご協力が仰げるものは提案させていただき、保護者様と一緒に児童の成長に向けて取り組んでおります。また、自治体主催のペアレント・トレーニングの情報が必要な保護者様に提供しております。	
27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				ご契約時に丁寧な説明をおこない、またご質問には適宜対応し、皆様にご理解いただけるよう努めております。		
28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		2		訪問を開始する前に、事業の趣旨や訪問支援の目的等について説明した文書を作成し、口頭でも丁寧に説明しております。		
29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		2		保育所等訪問支援計画を作成する際には、事前に面談にて児童の意思を聞き取りし、保護者様のご意向を確認しております。		
保護者等への説明等	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		児童発達支援管理責任者が保育所等訪問支援計画を示しながら、分かりやすい言葉をお話して説明し、計画への同意をいただいております。		
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っているか。	2		連絡帳や送迎時にいただく保護者様からの相談には、電話・面談などで助言や支援をおこなっております。		
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2	今年度は開催しておりません。	・今後は保護者様のご意向をうかがいながら、保護者会の開催を検討させていただき ・以前に何度か取り組んだことがありますが、いかなる学校から来ていただくのが難しく、現在に至っております。	
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		苦情の相談窓口を設け、契約時に説明するとともに、日々の利用に関するご意見やご相談については迅速に対応できるよう配慮しております。		
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		季節ごとのCOMPASS だよりや公式Webサイトのブログ・SNSにて活動報告をしており、毎月の事業所だよりは療育の様子などを写真とともにお伝えしております。		
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面を提示するなど、情報伝達に配慮しております。		
	訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先施設から相談があった場合は、個別支援会議を開き、職員間で支援や助言について話し合い、訪問先にお伝えしております。	
		38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		担当の先生とお話しするのと同時に、報告書を作成して詳しい内容をお伝えしております。	
		39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		お電話または訪問にてお話しするとともに、報告書を作成してお渡ししております。	
40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		2		個人情報の記載のある重要書類は施設ができる書庫にて保管し、取り扱いには十分配慮しております。情報使用時には必ず保護者様に同意を得ております。		
41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		2		訪問先施設の環境や理念を尊重しながら、ストレングス視点でとらえて助言や報告書作成をしております。		
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		いつでも閲覧できるよう各種マニュアルを事業所内に掲示しており、定期的な訓練をおこなっております。		
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画に基づき、必要な研修や訓練、措置をおこない、十分な安全管理に努めております。		
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットは速やかに事業所内で共有し、再発防止に向けた方策をたてております。		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止研修とセルフチェックを年に2回おこない、適切な対応に努めております。		
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		「COMPASSグループ」身体拘束等の適正化のための指針に基づき、原則として身体拘束をおこないません。やむを得ず身体拘束が必要となる場合には、事前に児童や保護者様へ十分な説明をおこない、承諾を得たうえで、児童発達支援計画に記載し、組織的に判断して対応しております。		

